

参考資料

～平成 23 年度事務事業等の外部評価（杉並版「事業仕分け」）資料～

※当日配布資料より抜粋

- (1) 太陽光発電機器設置助成
- (2) すぎなみ環境情報館

(1)太陽光発電機器設置助成

再生可能エネルギーの普及促進に向けて

従来、省エネ・省資源の視点からの取組み

原発事故による
電力危機

安全な基幹電源の確保
地球温暖化対策への貢献

政府のエネルギー政策の見直しと
基礎的自治体の役割

エネルギー自給能力の向上
～エネルギー効率が良く、
環境負荷の少ない地域社会へ～

普及への主な課題

- 高額な機器設置コスト
- 政府による政策支援
 - ①補助制度のあり方
 - ②電力買取制度のあり方

※買取コストの電力料金へ
転嫁による国民負担の増

設置コストの回収
自己負担の軽減

今後の取組みにおける検討課題

○指 標

- ①区全域の電力使用量に対する太陽光発電による自給率
- ②太陽光発電機器の普及率
- ③CO2の削減率
(排出係数の固定、省エネ努力の「見える化」)

○制度設計
対象、助成単価及び上限額、期間設定や助成総額
手続きの簡素化

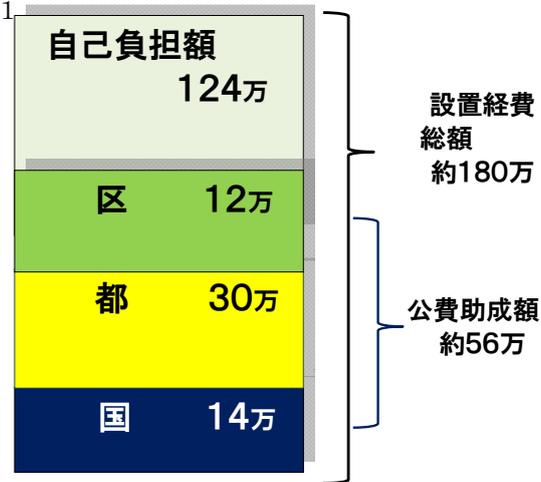
○情報発信
取組成果の見える、きめ細かな情報発信

標準モデルによる太陽光発電機器の設置に関する電力・コスト収支



【条件】

- ①一戸建住宅(木造既築)
- ②3kwパネル設置(工事費込)
- ③資金比率(自己資金7:公費負担3)

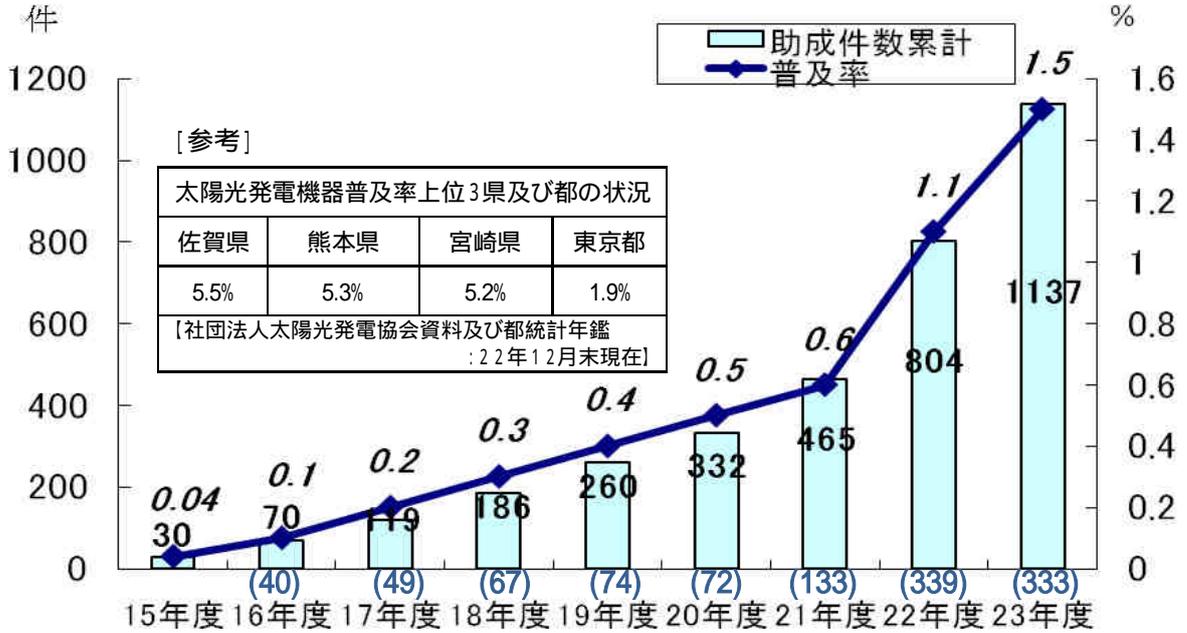


区 分	標準的世帯における電力・コスト収支 (推計)	
	電力自給率	年間使用電力量
年間発電量		約3,000kwh
最大電力自給率		約75%
設置コストと回収期間	設置コスト	約180万
	公費助成額(上限)	約56万
	自己負担額	約124万
	余剰電力の売電収入	約9万
	設置コストの回収期間	約12年

(注) 1 売電は、発電量の7割と仮定(売電単価4.2円/kwh)
 2 コスト回収期間は、自己負担額÷(売電収入+自家消費分の購入電力料金相当額)で算定
 ※購入単価2.3円/kwh

太陽光発電機器設置助成の現状

1 助成件数・普及率の推移

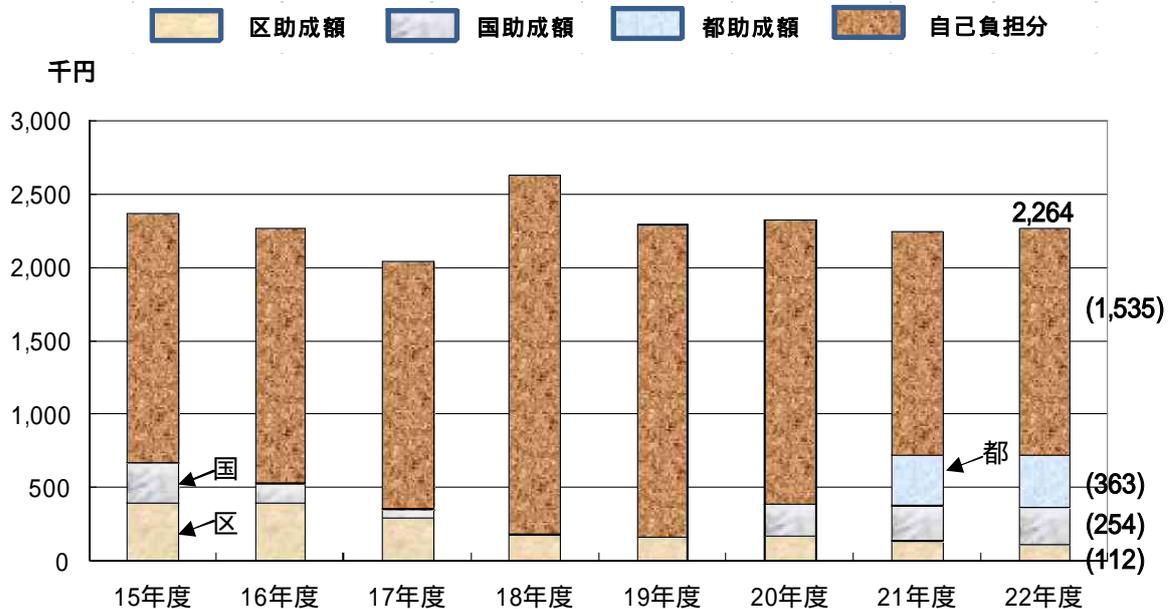


注1) 22年度までは決算数値、23年度は予算額。

注2) 普及率 = 区助成件数 ÷ 区内戸建て棟数

注3) () の数値は単年度助成件数

2 設置経費の年度別負担割合の状況



注1) 国は、17年度で助成を中断、21年1月から再開

注2) 都は21~22年度の間、助成を実施し、23年7月から再開

太陽光発電機器設置助成 実績

< 参考 >

年度	助成額	助成実績	平均設置経費 (千円) (1kwあたり 設置経費)	平均設備容量 (kw) (設置容量 の範囲)
15	経費の1/4 上限40万円	30件 11,729千円	2,364 (773/kw)	3.1 (1.19 ~ 5.20)
16		40件 15,838千円	2,270 (723/kw)	3.1 (1.00 ~ 5.58)
17	経費の1/4 上限30万円	49件 14,616千円	2,049 (697/kw)	2.9 (1.14 ~ 5.65)
18	7万円/kw 上限20万円	67件 12,525千円	2,631 (774/kw)	3.4 (1.22 ~ 12.21)
19		74件 12,519千円	2,294 (807/kw)	2.8 (1.07 ~ 6.73)
20		72件 12,847千円	2,336 (782/kw)	3.0 (1.05 ~ 7.03)
21	5万円/kw 上限15万円	133件 18,848千円	2,253 (656/kw)	3.4 (1.46 ~ 6.47)
22	4万円/kw 上限12万円	339件 37,800千円	2,264 (623/kw)	3.6 (1.09 ~ 9.88)
23		333件 40,000千円		

国・都の助成 (上限額)	
国	都
9万円/kw (上限なし)	
4.5万円/kw (上限なし)	
2万円/kw (上限なし)	
7万円/kw (70万円) H21.1.13 ~	
7万円 /kw (70万円)	10万円/kw (100万円)
7万円 /kw (70万円)	10万円/kw (100万円)
4.8万円/kw (48万円)	10万円/kw (100万円) H23.6 ~

太陽光発電機器 設置助成総計 15年度 ~ 23年度 23年度は予算額	金額(千円)
	1,137件
	176,722千円

すぎなみ環境情報館

1 施設の概要

区分	概要
所在地	杉並区荻窪5 - 15 - 13 あんさんぶる荻窪(複合施設) 3階の一部・4階・屋上
開館時間	年末年始を除く毎日8:30~22:00
諸室 付帯 設備等	環境学習室、情報資料コーナー(図書、ビデオ、AV機器等) 貸出用備品(待機電力計、電磁波測定器、騒音計等) ビオトープ、雨水利用(トイレ洗浄、ビオトープ水位調節) 屋上(庭園、スロープ) 太陽光発電機器、風力発電機器、気象観測システム、 太陽熱給湯器パネル (見学随時可)



【環境情報館の外観】

2 環境学習室



【環境学習室】

テレビ、ビデオ、DVDを設置した環境学習や環境団体等のための部屋
講演会なども開催
定員:30名

3 情報資料コーナー

図書 約5,000冊、ビデオ等 約110本
図書やビデオ等の閲覧や貸出
グループで集えるコーナー設置



【情報資料コーナー】

4 ビオトープ



ボランティアにより手入れされているビオトープには、メダカをはじめ、さまざまな生物が暮らしています。

5 屋上 (庭園、スロープ)

ボランティアにより手入れされている
屋上の庭園と、1階までのスロープ



6 見学可能な機器



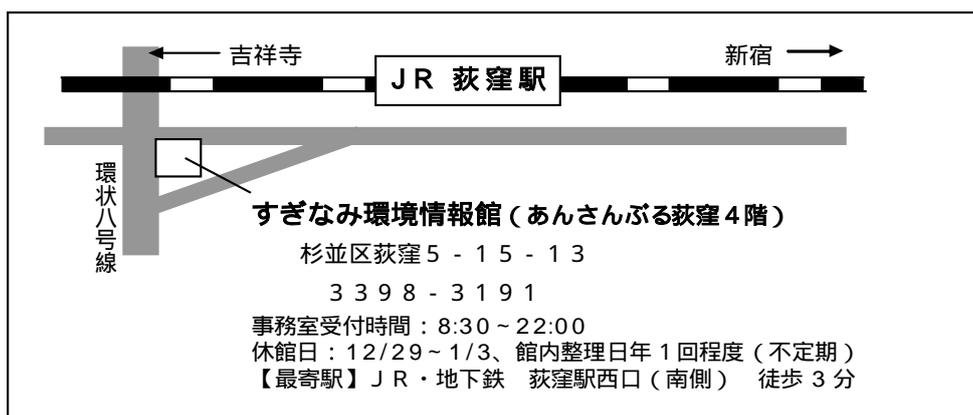
<太陽光発電機器>

- ・発電容量 5.02 kW
- ・あんさんぶる荻窪全体の電力使用量の約1%に相当する年間約5,200 kWhを発電し、ビオトープの水を循環させるポンプを動かしています。



<風力発電機器>

- ・発電容量 72 W(風速12 m / h)
- ・年間発電量約5 kWh
- ・屋上のフラッシュライトに使用しています。



すぎなみ環境情報館運営の概要

区分	執行体制・経費	委託業務の範囲
（施設管理を含む） 委託事業	NPO配置スタッフ ローテーション非常勤32名 （常時12名程度） 委託料（人件費・事業費） 1,450万円	環境配慮行動の推進のため、環境・リサイクルに関する総合拠点（条例） 1 普及啓発事業の企画運営 2 簡易相談事業 3 ネットワークの形成支援 4 貸室等受付業務
杉並区 の 事業	職員配置数 3名 【内訳】 再任用1名 再雇用1名 パート1名	担当事務 1 環境団体との連絡調整 2 環境博覧会の実施 3 広報・公式ホームページの管理 4 施設維持管理業務 5 自然環境調査の実施 6 その他
	総人件費 約800万円	
	維持管理費 約750万円 （平成22年度決算ベース）	

すぎなみ環境情報館の事業実績

主な事業区分		16年度（開設）	20年度	21年度	22年度
登録団体数		23団体	37団体	39団体	40団体
講座		1,365名 （108回）	959名 （49回）	955名 （52回）	1,044名 （50回）
講演会		234名 （7回）	290名 （8回）	206名 （5回）	97名 （3回）
自然観察会		137名 （4回）	151名 （4回）	99名 （2回）	176名 （5回）
学校支援 （指導生徒数・校数）		4,429名 （79校）	5,958名 （63校）	4,488名 （62校）	5,154名 （71校）
資料貸出件数		995件	516件	566件	524件
学習室	環境活動	347回	273回	271回	273回
利用状況	一般利用	313回 （277,690円）	645回 （573,380円）	618回 （549,575円）	606回 （539,610円）



杉並区環境白書

平成23年度版
平成23年9月発行

登録印刷物番号

23-0040

編集・発行

杉並区環境清掃部環境課
杉並区阿佐谷南一丁目15番1号
電話 (03) 3312-2111 (代表)

歩きながら、元氣と文化が、すぎなみ
生まれる街。